

「ヒバクシャ国際署名」をすすめる岩手の会ニュース

第12号/2018・7・13

編集発行：ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会
事務局：岩手県原爆被害者団体協議会 ☎019-622-4635

「核兵器禁止条約」採択
一周年記念の7月7日

“ヒバクシャ国際署名PeaceWave2018”七夕アクション

盛岡・クロステラス前～25人の参加で65筆！



人類史上初めて核兵器を違法化する「核兵器禁止条約」が国連で採択された7月7日、全国連絡会の呼びかけに呼応して「岩手の会」は、盛岡、北上、一関、奥州、花巻各市で署名を呼びかけました。

盛岡市では、クロステラス前で11時から正午まで小雨降る中、署名や平和を願う短冊づくりを呼びかけました。県被団協の三田健二郎副会長がマイクを握り、広島での被爆体験から「どこの国の誰も、あの地獄にあわせたくない」と署名を訴えました。

署名した72才の女性は「広島と長崎に行つて被爆の実相を見てきた。なぜ日本は禁止条約に入らないのか」と語りました。若いカップルが「戦争は絶対ダメ」と短冊に記し、笹竹につるし、署名に応じました。署名は全体で65筆寄せられました。行動への参加は生協連、平和環境センター、原水協、被団協の各幹事団から25人でした。久慈市、軽米町でも宣伝、署名行動を計画しています。

約に入らないのか」と語りました。若いカップルが「戦争は絶対ダメ」と短冊に記し、笹竹につるし、署名に応じました。署名は全体で65筆寄せられました。行動への参加は生協連、平和環境センター、原水協、被団協の各幹事団から25人でした。久慈市、軽米町でも宣伝、署名行動を計画しています。

—2020(平成32)年4月まで50万筆の目標に対し—

…10月の国連総会へ、9月末までに…

20万筆 (目標の40%) 突破を!

7月1日現在＝署名59カ国、批准11カ国～11カ国目はコスタリカ

現在、条約は59カ国が署名し、批准した国は11カ国になっています。50カ国目が批准した90日目から、この条約は発効されます。

人類と共存できない核兵器の廃絶、核なき世界の実現のためになんとしても発行につなげたいと思います。そのためには、核保有国やその同盟国の政策を変える必要があります。特に、唯一の戦争被爆国・日本のあり方が大きく問われます。私たち国内での運動がそのカギを握っていると言っても過言ではないでしょう。

ICAN 運営委員の川崎さんは、今年10月の国連総会までに1千万筆の署名を集め届けようと決意を語っています。全国連絡は、9月末に集約し10月の国連総会に届けることを決めました。

県内での署名は、県内50以上の団体から署名簿が届けられ、6月20日時点で156,059筆に到達しました。

7月4日の幹事会で、岩手の会としては、9月中に20万筆、目標の4割を突破しようと確認しました。やり遂げるための知恵や力を出し合いましょう。取り組みの様子、県民の反応などお知らせください。



8月19日(日)、川崎哲さん講演会

主催：岩手県反核医師歯科医師の会
共催：ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会

※空席が僅かです。希望される方はお早めに申し込みください。Tel.090-7520-2471